

インフルエンザ大流行中！新しい治療薬(ソフルーザ)の評価は？

インフルエンザが大流行しています。臼杵市では1月中旬から流行がはじまり下旬になり最も大きな流行となりました。これから2月中は流行に注意がいります。全国では昨年168名の脳症の報告があり、今年1月13日には長野県で小学生の死亡報告もありました。今回は、ソフルーザを中心にインフルエンザ治療薬について述べたいと思います。

Q1. 新しい治療薬ソフルーザとは？

今までの治療薬のタミフル、イナビル、リレンザ、ラビアクタはノイアミラーゼ阻害薬というウィルスの拡散を抑える薬です。すべて作用は同じでしたが、ソフルーザは細胞内のウィルスの増殖自体を抑える薬です。初めて、作用の違う薬が出たこととなります。

Q2. ソフルーザの利点は？

- ①とても小さい錠剤で1回飲めばすむ
- ②吸入が上手にできない小児にも使用しやすい
- ③年齢・体重により使用する量がきちんと決められていて、処方しやすい。

Q3. ソフルーザの欠点は？

1月24日に国立感染症研究所が、ソフルーザの耐性ウィルスの検出率が12歳以上9.7%、12歳未満は23.4%と発表しました。同時に発表したタミフルの耐性率は成人で0.32%、小児で4.1%と発表されています。耐性ウィルスとは薬が効きにくいウィルスのことです。まだ認可されて1年未満なのに高い耐性率となっています。使うのに少し考慮が必要です。

Q4. 具体的にどのような治療を選択すれば良いですか？

(表1)に年齢別の治療薬の種類と年齢別の選択肢を示しています。

4歳未満はタミフルの5日間の服薬、5歳から9歳は吸入ができればイナビルの1回吸入、できればタミフルの5日間服薬(ないしはソフルーザの1回服用)、10歳以上はイナビルの1回吸入(ないしはソフルーザの1回服用)が最も簡便で効果的と思われます。

Q5. 症状で注意することは！

高熱、異常言動、異常行動に十分に注意して観察し、意識障害、けいれんなど脳症、脳炎を疑う症状があった少しでもあった時は救急で病院受診をして下さい。必ず窓や部屋の鍵をかけ、できれば1階に就寝することも大切です

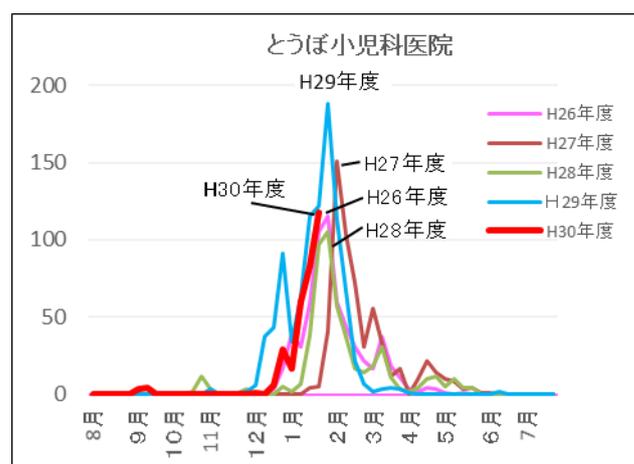


表1

| | ソフルーザ | タミフル | イナビル | リレンザ | ラビアクタ |
|-------|------------|---------|------------|---------|-------|
| 服用方法 | 飲み薬 | | 吸入薬 | | 注射薬 |
| 剤型 | 錠剤 | 粉・カプセル | 粉 | 粉 | 液剤 |
| 回数 | 1回 | 1日2回5日間 | 1回 | 1日2回5日間 | 1~2回 |
| 1歳未満 | × | ◎ | × | × | 使用可 |
| 1~4歳 | × | ◎ | × | × | 使用可 |
| 5~9歳 | △~◎ | ◎ | △~◎ | △~◎ | 使用可 |
| 10歳以上 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 使用可 |
| 作用 | ウィルスの増殖を防ぐ | | ウィルスの拡散を防ぐ | | |